

第39回特別展

縄文人の

# タヌムカフセル

—南鴻沼遺跡の成果から—

入館  
無料



平成27年

10月10日(土)

~11月23日(月)



B.C.1200

- 大宮駅から徒歩15分
- 駐車場が狭いので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

## さいたま市立博物館

<http://www.city.saitama.jp/004/005/004/005>

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2-1-2

☎048-644-2322

開館時間：午前9時～午後4時30分

休館日：祝日を除く月曜日、10月13日(火)、11月4日(水)

# 縄文人の タイムカプセル

南鴻沼遺跡(中央区大戸1丁目)は、鴻沼低地東側の台地の下に広がる低湿地にあります。

平成23~24年度に発掘調査を実施し、「水場遺構」や、「丸木舟」「漆製品[容器・櫛・弓等]」「<sup>へんそせいひん</sup>編組製品」など主に縄文時代中期から晩期にかけて数多くの遺物が出土しました。また「クリ」の果実、「トチノキ」の種子、「クルミ」の核なども多く見つっています。これらは、台地上の遺跡では通常出土しない貴重な資料であり、当時の暮らしを身近に感じることができます。

今回の特別展では、考古学的手法だけでなく、科学的な手法も使い様々な角度から検証が進められている南鴻沼遺跡について、出土品を通して縄文時代の生活や、遺跡および周辺環境について明かしていきます。



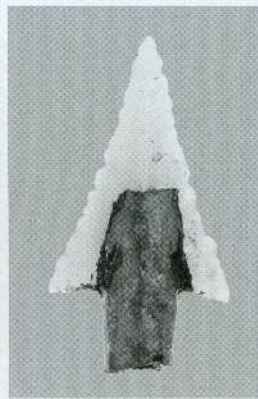
南鴻沼遺跡発掘調査風景



編組製品



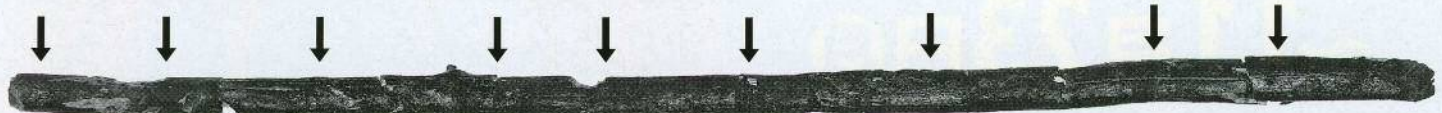
掻き傷拡大図



漆で接着された石鏃



櫛状木製品



縄文時代中期の掻き傷(9カ所)のあるウルシの木  
[11月1日~11月23日公開]

## 関連講座

### ①プラネタリウム 「縄文人が見た4,000年前の星空」

日時: 11月8日(日)

午後3時20分集合(投影は3時50分~4時40分)

会場: さいたま市青少年宇宙科学館

(さいたま市浦和区駒場2-3-45)

定員: 100名

費用: 大人408円、小人(4歳から高校生)160円

### ②南鴻沼フォーラム 「南鴻沼遺跡の成果を語る」

日時: 11月15日(日)

午前11時~午後4時

会場: 大宮図書館視聴覚ホール

(さいたま市大宮区高鼻町2-1-1[市立博物館となり])

講師: 岡村 道雄 氏 (奥松島縄文村歴史資料館名誉館長)

佐々木 由香 氏 (昭和女子大学人間文化学部非常勤講師)

山田 尚友 氏 (さいたま市遺跡調査会主任調査員)

定員: 90名

費用: 無料

申込方法: 10月23日(金) [必着] までに、往復はがき(1講座1通)に、①講座名、②氏名、③電話番号、④住所を明記し、市立博物館へ(申込み多数の場合は抽せん)。

博物館職員による展示解説  
[申込不要]

10月18日(日)「縄文時代のクルミをさわってみよう」  
11月1日(日)「丸木舟を観察してみよう」  
午前11時~午後2時~ 各30分程度

このチラシは13,000枚作成し、1枚当たりの印刷経費は9円です。